

令和6年度第1回印西市総合計画審議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年7月30日（火）午前10時00分～午前11時00分
- 2 開催場所 印西市役所 別館1階 農業委員会会議室
- 3 出席者 吉村彰 会長、篠田道雄 委員、小幡和男 委員、野々村浩明 委員、
武田好子 委員、海老原稔 委員、青柳和江 委員、渡辺敏雄 委員、
青木和浩 委員、熊谷公 委員、岸本誠 委員、伊藤亘 委員、
大竹たまい 委員、嶋田孝雄 委員、小林正一 委員
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 企画政策課：武藤課長、草間課長補佐、大浦係長、平木主査、阿部主査補
- 6 傍聴者 2名
- 7 議事 (1) 令和5年度分行政評価について
- 8 報告 (1) 印西市第2次基本計画の策定状況について
- 9 会議録 要点筆記（議事については要点を筆記しています。）

【議事】

- 会 長： 議事（1）令和5年度分行政評価について、事務局より説明願います。
- 事 務 局： 資料に基づき説明
- 会 長： 事務局から説明がありました。皆さんからご質問等ありましたら、挙手をお願いいたします。
- 委 員： 資料1の今後の方向性が拡大となっているNo.52の災害に強い住まいづくりの促進について、予算が少ないですが、これは新しい制度ができて変わっていくのでしょうか。
- 事 務 局： 現在、近隣自治体と比べて補助額が少し少ないということで、令和7年度に向けて検討していると伺っております。
- 委 員： No.41の農業生産基盤の整備に関してご質問です。農林業の振興について、地産地消に関する指標はないのでしょうか。
- 事 務 局： 地産地消に関する指標は設けておりませんので、今後の課題とさせていただきます。

だきます。

委員： 農林業の振興について、農業生産基盤の整備は具体的に何をやったのでしょうか。

事務局： 今後の方向性に記載しておりますが、農業用排水施設の改善、また農業の効率化、生産性の向上を図るために、引き続き、各種事業により支援をしていくということで伺っております。

委員： 我々生産者でも農地の集積化や大規模化という話がよく出ています。それには大型機械が必要ですが、農道が狭くて入ることができず、非常に不便であるという意見が出ます。生産基盤の整備はとても重要だが、印西市単独ではできないと思います。国や県の農林水産部局と共に基盤から直していかないと、効率的な農業生産はできません。また、担い手の確保について、行政の考えを教えてください。

事務局： 担い手の確保について、最も苦慮しており、根本的な解決策を見いだせていない状況であると、担当課より伺っております。

委員： それではこの資料に書いてあることは、絵に描いた餅にすぎません。農業だけではありません。例えば政策4のNo.49の良好な土地利用の推進やNo.50の印旛中央地区の市街地形成の支援など、どのように進めていくのでしょうか。新市長は印西市を世界モデルのまちにすると公約を掲げていると思います。このような課題を全て解決していかなければ、世界モデルの印西市にはなれません。

事務局： 印旛中央地区の市街地形成につきましては、まだ組合発足に至っておらず、足踏みをしている状況ですが、これをいかに前に進めていくか、今後市長及び担当課と協議をし、進めていくものと考えております。

委員： 印旛中央地区の市街地形成について、この土地はUR（独立行政法人都市再生機構、以下同じ。）が印西市に残した土地で50町歩程あると思います。これを組合方式で開発することになっているが、簡単ではない。市として、今後新市長のもとで、新たな変化も含めて対応していかなければ、なかなか開発できないと思います。

委員： 世界モデルのまちにするには、まずインフラを整備する必要があると思います。特に以前から言っているように、コスモス道路の早期完成が必要だ

と思います。市だけでなく、熊谷知事や県議会議員含めて進めていかなければなりません。他にも道路整備の要望は多くあると思います。

また、ニュータウン地域外が益々開発されていると思いますが、上下水道の整備はどうなっているのでしょうか。上水道については、ニュータウン事業の地域は千葉県営水道を引くことができ、数メートル離れたところでは引くことができず、井戸を掘ることになる。そして下水道については、国道や県道の流末排水も市のU字溝に流れており、十分に整備がされているのでしょうか。

事務局： 道路整備に関して、南北を結ぶ路線は少なく、千葉竜ヶ崎線に集中しております。また、この路線は狭隘な箇所があるため、通学に際しても危険な状況です。コスモス道路は用地買収が難航しておりますが、早期完成をさせていく必要があると考えております。また、船橋印西線の延伸や千葉北西道路の整備などその他の路線の整備も重要であると考えております。次に、上下水道の整備に関して、流末河川の汚染が懸念されておりますことから、浄化槽の管理を徹底していけるよう、その部分のサポートを考えております。

委員： No. 61 の美しく快適な環境づくりの推進に関連すると思いますが、千葉県立花の丘公園には非常に多くのカワウがおり、糞で木が真っ白になっています。また、気温が高くなるとかなりの臭気となっています。基本的には県の管理だと思いますが、市はどのように関係しているのでしょうか。また、近隣住民から要望があがっていると思いますが、県はどのような対策をしているのでしょうか。

事務局： 地元の町内会から要望が出ており、それを市から県に伝えております。県が主で対応し、市は協力しているという関係で、ドローンを使用して巣を作らないよう木々にテープを張るなど対策をしていると伺っております。

委員： それでは、市から県に申し入れはしていて、最終責任は県だが、市の責任としても、行動をとっているということでしょうか。

事務局： 市は県に協力しているという状況です。

委員： 安全に関する部分で要望をさせていただきます。北環状線の白井から木刈中にかけて、かなり草が伸びており、見通しが悪く危険な状況ですので、早急に草刈りをしてください。

また、私の住んでいる地区で掃除があり、坂の法面の防草用の黒い布のよ

うなものを設置している箇所がありますが、それが破れる他、木の根っこが伸びて盛り上がり、修復をしないとまた草が伸びてしまうと思います。

次に、これは市と警察の仕事だと思いますが、鹿黒のグッドマンなどの大型物流センターができ、木下街道や国道 356 号に多くの大型車が通るようになりました。しかし、道路の停止線は以前のままで、交差点において現状の停止線で停止してしまうとすれ違う際にかなりすれすれとなっております。この点において見直しをお願いいたします。

事務局： それぞれ担当課には、情報提供させていただきます。

委員： 総合評価AのNo.12の障がいのある人の地域生活支援の充実について、評価は一定数の数値目標から出来高が超えていますので、評価を変えてくださいということではありませんが、障害福祉に携わっている私の実感として、AではなくBでもよろしいのではないのでしょうか。グループホームへの入居者は増えておりますが、これに関しては民間が市内にグループホームを次々と作っており、それに伴って増加をしております。グループホームができれば、それで評価がいいかと言ったらそうではなく、不正をしていたという事業者もおりましたので、そのグループホームの中身、ソフト面について、しっかりと運営されているかどうか、障がいのある人が満足して生活しているのかといったところまで含めて、評価として指標に入れた方がいいのではないかと思います。No.12の活動指標に、障害福祉サービス（共同生活援助）利用決定者数と書いてありますが、これはグループホームと同じことを指しています。障害福祉はこのグループホームだけではなく、生活介護、生活訓練など様々なメニューがありますが、活動指標に共同生活援助と書いてあり、成果指標にはグループホームへの入居者と書いてあり、これは同じ意味合いですので、精査する必要があると思います。上段の令和5年度の事業実績・成果に、様々なことが箇条書きで書かれていますが、大部分が毎年やっていることで、これについては評価に値しないと思います。ただ一番下の物価高騰の影響を受けている市内の障害福祉サービス施設等に対して、支援金を給付し、安定的な事業継続を支援したということに関しては、国県では入所型の施設のみの支援でしたが、印西市では通所型に対しての支援を実施しており、臨機応変な支援を実施したということで評価できると思います。

評価の観点に関しましては、精査いただけると、実際に取り組んでいる方たちにとっては、意味のある指標になるかと思います。

事務局： 活動指標及び成果指標のあり方については、担当課とも協議していきたい

と考えております。

- 会 長： 只今のご意見は、評価はAだが、もっと具体的に細かく、質に関する指標を入れて欲しいということだと思います。
今までの皆さんのご質問は、令和5年度の評価についての内容で、今後の対策に関することだと思います。
農業に関しては、困難な課題が多くあると思いますが、全国や千葉県内の他の自治体での好事例を参考にすることも良いかと思えます。担い手に関しても、やはり若い人達は魅力があれば、農業に限らず興味が出ると思います。その魅力をどのように作っていくか。そのあたりは、先進事例を参考に、ただ真似るだけではなく、オリジナリティのあるものを作っていくことが重要だと思います。
あと1つは、インフラ、特に道路についてです。長年の課題ですが、根本的な原因は既にわかっていると思いますので、それをどう突破するかだと思います。新しい市長さんにも期待したいと思います。
- 委 員： 今、会長からインフラの話が出ましたが、私が言いたいのはコスモス道路についてです。20年以上経っても完成していない。ある方に、どうしたら完成するか聞いてみました。すると県の意気込みだと言っていました。また、用地買収は相続等により所有者が多くいるので、供託金を積んで実施するしかない。また、市長の強烈なリーダーシップがないとできません。このようなものを一つ一つクリアしていかないと世界モデルの印西市にはならないと思います。
- 委 員： 総合評価Cとなっている事業で、令和5年度未達で、今後どのように力を入れていくのかということを見ていくと、No.44の創業・起業の支援と企業誘致について、実施計画の内容において、令和5年度から令和7年度に優良企業への誘致活動という記載がありますが、この優良企業への誘致活動とは具体的に何をやっているのでしょうか。また、商工会で実施している支援として利子補給金というものがあつたと思えますが、印西市がそれを増やしていく考えはないのでしょうか。
- 事 務 局： 1点目の優良企業への誘致活動について、産業動向調査を実施した際に、大手ディベロッパーやゼネコンに市のPRをしたと伺っております。また、2点目の利子補給金の増額について、今現在、企業支援に関して新しい支援はございませんが、新しい市長の公約の中にも、多数見受けられておりますので、次年度に向けて検討されていくものと考えております。

委員： PRの方法について、ゼネコン等にPR・営業活動をされたということですが、実際に私が印西にきて15年、当時成田線管区は我孫子から東はほとんど事業収支が見込めない状況でしたが、それから印西の評価がここ10年で変わってきていると思います。他の市町村の例で言えば、流山、柏、東金、他県では非常に上手く地元の大学やゼネコンなどと業務提携したりされていました。印西市の場合、課題があるとする道駅ですが、様々な誘致をしても、ディベロッパーやゼネコンではない事業者が企画に参加しているのが現状ですので、優良企業の誘致と記載がありますが、その質について十分な研究がなされているのか質問させていただきました。

委員： 優良企業の誘致について話ができましたが、基本的に場所の問題だと思います。土地がなければ優良企業は来ません。やはりインフラも含めて、どこに優良企業を呼ぶかということです。既にニュータウンは場所がないので、ニュータウンエリアから外れたところしかないと思います。また、印旛中央地区や牧の原地区を含めて考える必要があると思います。さらに調整区域も、都市計画法を含めて検討が必要です。既に大手企業が多く土地を所有しているため、場所を用意しなければ、企業誘致しても来ないと思います。

会長： 皆さんから貴重なご提案をいろいろいただいておりますので、ぜひ、前向きに取り組んでいただければと思います。他に何かございますか。

委員： 印旛中央地区の市街化形成の支援に関して、大手の不動産事業者が一括して計画区域の開発をしていただけると伺っておりますが、ぜひその中で国道464号沿いに道の駅を作りたいと思います。板倉前市長にはお願いしておりました。なぜかという、外環から成田空港に行くまでの間にトイレ休憩をするところはないし、買い物をするところもありません。そのようなことを踏まえ、成田市に作られる前にいち早く印西市でそういう場所を造れば、印西市の経済の活性化にもなるのではないかと思います。そしてもしできた暁には、その管理を印西市商工会でお願いできないかという話もさせていただきました。

また、市街化区域から数メートルもしないところで、下水も使えない、水道も使えないという話もありました。市街化区域から1キロ以外でも、開発されている部分については、上下水道を整備して、環境に配慮していくといった、柔軟な対応も必要だと思います。先ほど合併浄化槽を入れたからしっかりしていますといった話がありましたが、全然駄目です。快適な農地の形成といった話もありましたが、農地にどんどん住宅を建てて、その合併浄化槽の排水が流れて、その排水によって魚が住めない状況になっ

ております。そのような状況を踏まえて、印西市としても、柔軟かつ臨機応変に、新しいインフラの整備を市独自に考えていかなければ、美しい環境の整備には非常に届きにくいと思います。

次に、印西市には千葉ニュータウン中央駅と次の印西牧の原駅があります。当初千葉ニュータウン事業では、その間に第五駅だと思いましたが、その計画がありました。現在、進捗はありませんが、印西市高花6丁目付近の人達は、この地域に駅ができると千葉県住宅供給公社から話を聞いて住宅購入をしているので、駅を作ってくださいと板倉前市長にお願いしたことがあります。今北総鉄道の社長は変わりましたが、室屋前社長に同じようなことをお話しましたら、まだまだ北総線は儲かっているからできないという話だったので、その部分を含めて板倉前市長にはお願いをしていました。そこに駅を作ると、グッドマンへの通勤も歩いていけるような状況になるかと思えますし、新駅の北側がまだ調整区域で、その辺のあたりも徐々に開発していくと、市街地の活性化がどんどん進むと思います。

会 長： 他にご質問等ございませんか。
質疑がなければ、議事（1）につきましては、以上といたします。
それでは本日の審議は以上とし、事務局にお戻しいたします。

事 務 局： 続きまして報告（1）「印西市第2次基本計画の策定状況について」事務局より説明させていただきます。

事 務 局： 資料に基づき説明

事 務 局： 説明が終わりました。報告（1）について、ご意見のある方は挙手をお願いいたします。

〈質疑無し〉

事 務 局： 質疑がなければ、報告（1）につきましては、以上といたします。その他なにかございませんでしょうか。ないようですので、これを持ちまして令和6年度第1回印西市総合計画審議会を終了します。長時間にわたりありがとうございました。

会議資料

- 1 令和6年度第1回印西市総合計画審議会次第
- 2 資料1 令和5年度分 行政評価の結果概要について
- 3 資料2 令和5年度分 行政評価結果報告書
- 4 資料3 令和5年度分 実施計画事業評価票
資料3 付属資料 実施計画事業番号55 道路等整備に関する位置図
- 5 資料4 印西市第2次基本計画策定スケジュール

令和6年度第1回印西市総合計画審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和6年8月28日

委員：青木和浩

委員：熊谷公